

2025年 歴史教育者協議会 全国大会 8月2日～3日

第76回 東京大会



大会テーマ

戦後80年の歴史に学び、平和をきりひらく

会場 明治大学 和泉キャンパス第一校舎 (オンライン参加可)

記念講演 戦後80年 戦争の記憶の継承から平和の創造へ

講師 山田 朗 (歴史教育者協議会委員長・明治大学教授)



今世紀に入り、政府は軍拡路線を推進し、負の歴史を親ない歴史修正主義の傾向も強まっています。戦争体験が直接伝えられる最後の時期であると同時に

に、体験者の証言などを「オーラルヒストリー」として伝えていく時代になっています。戦後80年という節目の年に、戦争と植民地・占領地支配の真実をいかに伝え、日本人の歴史認識を深めていくかを話します。

1956年 大阪府豊中市生まれ。68歳
1979年 愛知教育大学卒業
東京都立大学大学院、都立大学助手を経て
1994年より明治大学勤務
現在 明治大学文学部教授、平和教育登戸研究所資料館長
＝著作(主な単著)＝
『大元帥・昭和天皇』(ちくま学芸文庫)『軍備拡張の近代史』(吉川弘文館)『日本は過去とどう向き合ってきたか』(高文研)『兵士たちの戦場』(岩波現代文庫)『昭和天皇の戦争』(岩波現代文庫)『帝銀事件と日本の秘密戦』(新日本出版社)『昭和天皇の戦争認識』(新日本出版社)

大会日程 ※8月1日(金) 12:30～15:30 社員総会・会員集会

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
8月2日(土)		全体会/ 記念講演				分科会 I				地域に 学ぶ集い			
8月3日(日)		分科会 II		分科会 III		閉会 集会							
8月4日(月)													

※現地見学と同日、富士国際旅行社の大会タイアップツアーもあります。



昨年に引き続き、今大会も常任委員会を中心として、関東ブロックの協力のもとで東京大会を開催します。今年の夏も暑くなりそうとの予報がありますが、東京に集まって学びあいましょう。

■大会参加費

- ・事前申込みはPeatixで6月2日から受付
会員 / 教員 5,500 円 (当日申込は 6,000 円)
学生・U25 会員・市民 1,500 円 (当日申込は 2,000 円)
高校生以下 無料
- ※教員退職者は、会員・教員参加費で申し込んでください。
- ※保育あります (5,000 円/日)。

第1分科会 地域の掘りおこし ※ 日本の各地域には、まだまだ知られていない埋もれた歴史があります。それを掘りおこす方法を学びあい、教材化していく努力を続けています。	第2分科会 日本前近代 ★ これまでの日本前近代分科会の成果に学びつつ、小学校から高校までの授業実践や教材研究の報告を通して、豊かな前近代史像認識と授業づくりを中心に論議します。
第3分科会 日本近現代 地域に根ざした歴史研究のあり方、研究成果を教材化する 方法、実践を通じて子どもの歴史認識をどう育てるかを考 え合います。敗戦80年にどのような近現代史学習が必要か 考え合ひましょう。	第4分科会 世界 ★ 今大会では、世界分科会にエントリーされた12本のレ ポートのうち、6本を1日目の「歴史総合」特設分科会で 扱い、2日目には前近代史を中心とする6本のレポートを 世界分科会で取り上げ、報告と討議を行います。
第5分科会 憲法と現代の社会 ※ 改憲をめぐる社会情勢を踏まえつつ、小・中・高や市民 の中で憲法学習がどのように実践されているのかを検討し ます。高校「公共」などの実践から、選挙、人権、戦争、 平和などの課題を学び合います。	第6分科会 思想・文化・文化活動 地域の歴史や地域で行われてきたさまざまな活動を手が かりにして、現代の思想・文化の動向や文化活動の意義に ついて考えます。
第7分科会 現代の課題と教育 現代社会に存在する、様々な民族・文化の共生・共存お よび人権問題に目を向けます。レポート討議を通じて、各 地域で直面している課題から学び、現代の課題に迫り解決 の方法を探ります。	第8分科会 平和教育 戦争が続き、日本も戦争をする国に変わろうとしている いま、戦争の歴史を学び、戦争の記憶を受け継ぐこと。平和の 希望をどのように見いだすのか、全国からの実践を交流し、 討議を深めます。
第9分科会 幼年・小学校低学年 秋探しやタネから学びの深化へ、パレスチナ難民支援か ら平和学習へ等の実践から低学年の気づきや願いを認識に つなげた実践を学び合ひましょう。二日目の午前は朝鮮学 校との関わりで造形教育の実技講座もあります。	第10分科会 小学校3・4年 ◎ 小学中学年は社会科学学習の導入期であり「空間的・時間 的・社会的認識力」を育てる重要な学習です。子どもや生活 基盤の「地域」を知り、有用な教材や指導法をみつめて授業 作りするために各地域の実践を通して学び合います。
第11分科会 小学校5年 ◎ 地域も日本も世界も何でもあります。5年生はだから面 白いんだ。コメ、牛、ミカン、国境や政治のことも。教科 書にあれば全部やります。みなさん、劇的に授業を変えて みませんか。	第12分科会 小学校6年 子どもたちの現状を踏まえた教材や授業のあり方を考え ます。何よりも、子どもたちの視点を大切に、地域に根ざ した歴史、地域、政治学習などを交流し合ひましょう。
第13分科会 地域の中の子どもたち 子どもたちの現状を以下の内容を受けて、考えます。 環境問題、学校、放課後の生活、不登校、フリースクール、 児童館など。	第14分科会 中学校（地理と分野を超えた分科会） 世界や日本の現実を踏まえ、地理学習をどんな構想で取 り組んできたか、また、分野を超えて3年間の社会科で何を 大切にしてどのように進めていくのかを交流しましょう。
第14分科会 中学校（歴史分科会） 現代を生きる中学生にとって、歴史を学ぶとはどうい うことでしょうか。中学生が切実感をもって学びたい歴史 学習とはどんなものかを実践をもとに話し合ひしまし ょう。	第14分科会 中学校（公民分科会） ウクライナ戦争やイスラエルのガザ地区攻撃という現実。 平和、人権、民主主義を掲げ、未来を形成する主権者を育む 中学校で、様々な現実を自分事として考え行動する市民を どう育てるかを議論します。
第15分科会 高校 ★ 新学習指導要領が2022年度より始まり、今回の改訂で 「歴史総合」「地理総合」「公共」という新科目が登場しま した。歴教協の実践の積み上げをもとに新科目の可能性につ いて探ります。	第16分科会 大学（2日午後のみ） 現在の学生に不足している歴史と現代社会とのつながり について意識させる授業方法や、学習指導要領改訂に伴う 教職課程の内容検討をテーマとします。
第17分科会 障がい児教育 障がい児の社会認識、主権者意識をどう育てるか、特別 支援教育を必要とする子どもたちの実態や教育実践を議論 したいです。	第19分科会 社会科の学力と教育課程（3日午後なし） 社会科の理論と実践を通して、児童・生徒が獲得する知識 や形成していった認識について議論します。また、どのよ うな目標・内容・方法で計画され、実践されたのかを丁寧に検 討していきます。
第20分科会 授業方法 「子どもが考え、活動する授業」・「子どもが伸びる授業」 の2つの柱に基づいて、参加者目線に立って意見を交流し ます。経験、校種を限定せず自由に議論できるので、学生 や若手にも人気の分科会です。	特設「歴史総合」分科会 ★（2日目午後 3分散会実施） 社会科の理論と実践を通して、生徒が獲得する知識や形 成していった認識について議論します。また、どのような目 標・内容・方法で計画され、実践されたのかを丁寧に検討し ていきます。

注記）※印「地域の掘りおこし」「憲法と現代の社会」分科会は会場参加のみ。オンライン参加できません。

★印「日本近現代」「世界」「高校」分科会共催で2日午後には特設「歴史総合」分科会を開催します。

◎印「小学校3・4年」「小学校5年」分科会は、2日午後は合同分科会として開催します。

第18分科会 父母市民の歴史学習は、今年はお休みです。

- ・分科会別レポート一覧は、歴教協のHP および『歴史地理教育』2025年6月号に掲載しています。
- ・7月24日の締め切りまでに参加を申し込んだ方には、レポートのダウンロード用、オンライン参加用URLをお知らせします。レポートは7月30日よりダウンロードできます。

地域に学ぶ集い 8月2日(土)18:00~19:30

テーマ	
山梨平和ミュージアムの開設と18年間の取り組み	浅川 保 (山梨県歴教協)
日中韓3国共同の教材づくりー経緯と今後の課題	大日方純夫 (東京歴教協)
歴史がつまったこの街を、ともに歩く！ー横浜・神奈川から考える	小川輝光 (神奈川歴教協)
神奈川の戦争遺跡から、捕虜虐待と民間人抑留の実態を追う	福永徳善 (神奈川歴教協)
慎蒼宇さんと学ぶ102年目の関東大震災・朝鮮人虐殺	慎 蒼宇 (法政大学)
観点別評価はどこに問題があるか	佐貫 浩 (法政大学)
学習指導要領の改訂と教科書のゆくえ	梶谷 陽子 (教科書ネット21)
2024年12月尹大統領戒厳令発令と学校現場での取り組み	ハン・ユラ (忠賢中学校)
日中授業交流	南京市の高校の教員による歴史の授業実践報告と討議 (オンライン)

現地見学 (各都県独自企画) 8月4日(月)

Aコース 東京駅丸の内界隈の歴史散歩 (定員25人、1000円)

東京駅丸の内南口(改札口に向かって左奥付近) 9:20 集合。9:30 出発→原敬首相遭難現場→愛の像→丁倫敦・三菱一号館→東部軍管区司令部、GHQ が設置された第一生命相互館→別子銅山開坑 200 周年記念の楠木正成銅像→重要文化財・明治生命館→丸の内ビルディングの基礎杭・丸ビル 35 階から展望→日本工業倶楽部会館外観(ハンマー、糸車を持つ像)→鉄道の父・井上 勝銅像→東京駅丸の内北口 12:30 (予定)

Bコース 英連邦軍の捕虜たち1700人はどこで、どのように死んだのだろうか？ (定員20人、1000円+バス代)

JR 保土ヶ谷駅改札 9:15 集合(厳守)→路線バス移動→9:45~10:45 英連邦墓地見学→保土ヶ谷駅 11:20 解散。

Cコース 西崎雅夫さんと学ぶ102年目の関東大震災・朝鮮人虐殺 (定員15人、1000円+移動費、昼食費)

東大島駅(都営新宿線)・大島口(西口) 9:00 集合→9:10~30「江東区立東大島文化センター」(大島八丁目・中国人集団虐殺現場)→9:50~10:10 逆井橋(王希天虐殺現場)→路線バス移動→10:45~55 旧亀戸警察署(「亀戸事件」現場)で説明→11:05~30 亀戸「浄心寺」(亀戸事件犠牲者追悼碑)→路線バス移動→12:00~40 押上駅周辺で昼食→電車移動→13:05~40 追悼碑・ほうせんかの家→荒川土手(虐殺現場)・河川敷(遺体仮埋葬現場)→13:40~14:40 慎民子さんの話→14:40~15:10 慎蒼宇さんの話(同上)→15:15~30「ほうせんかの家」→15:30 フィールドワーク終了。喫茶店で休憩。16:30 曳舟駅(半蔵門線・京成押上線)解散。

※詳しい行程は大会実行委員会事務局にお問い合わせください。

※各都県企画の受付締め切りは7月24日ですが、定員に達した時点で締め切ります。各コースとも大会参加が条件となります。受付状況は歴教協のHPでお知らせします。

※各都県企画の参加費は当日集めます。参加保険は本部で負担します。ただし、事前申し込みなく参加した場合は保険をかけられませんのでご注意ください。

= (株) 富士国際旅行社の大会タイアップ企画 = 旅行社に申し込んでください。

山梨コース：山梨の戦争と平和を訪ねる (8月4日)

千葉コース：館山まるごと博物館～戦跡と東アジアの交流を学ぶ (8月4日)

福島コース：東日本大震災から14年～福島の現在を知る旅 (8月5日～6日)

※詳しい行程は、富士国際旅行社のHPをご覧ください。

※タイアップツアーの一般申し込みは6/15より。歴教協大会参加者は6/1より申し込みます。先着順になりますので6/15までに申し込まれた方が確実です。

大会申込みについて

□申し込み方法

①歴史教育者協議会のホームページから手続きを進めてください。

URL : <https://www.rekkyo.org/> (QR コード→)

②ホームページで、申し込みの注意事項を確認してください。

③続けて、チケット販売システム Peatix からお申し込みください。

④はじめて Peatix を利用される方はアカウント登録が必要になります。

詳細は上記ホームページでご確認ください。

⑤現地見学の申し込みは、2 種類ありますのでお気をつけください。

ア、大会実行委員会主催コース (A、B、C)

Peatix の大会参加申し込み欄に希望コースを入力してください。

参加費は、当日集合時に現金で徴収します。

イ、(株)富士国際旅行社の大会タイアップ企画

別途、富士国際旅行社のホームページ等よりお申し込みください。

<http://www.fits-tyo.com/> 電話 045-212-2101 FAX 045-212-2201

※コースによっては先着順で締め切ることもあります。お早めにお申し込みください。

⑥ Peatix の事前申込み受付期間は、6 月 2 日 (月)～7 月 24 日 (木) です。7 月 25 日以降は、当日申込み、当日参加費扱いとなります。会場受付の際に現金でお支払いください。

⑦「Peatix で申し込みができない」「振込みができない」その他申し込みに関する問い合わせは、下記大会実行委員会までお問い合わせください。

□申し込み後の流れ

①参加証の事前送付はしません。「参加証」は、Peatix 申し込み済みの方に、当日会場の受付で配布します。

②レポートなど大会資料ダウンロード用クラウドアドレス、オンライン用の各 Zoom アドレスは 7 月 30 日をめどにメールで連絡します。メール確認を忘れないようにお願いします。

③オンライン参加の方は、入室時に必ず「申し込み者の氏名」を表示してください。名簿でお名前がチェックができない場合は、入室許可されないでお気をつけください。

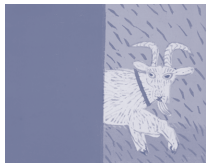
④昼食・宿泊は大会実行委員会では準備・斡旋していません。ご自身で手配してください。なお、宿舎については、富士国際旅行社の斡旋がありますので、上記富士国際旅行社のホームページからご利用ください。

⑤その他、急な事情によるキャンセル、オンライン参加への切り替えなどは、大会実行委員会までお知らせください。Peatix を通してのキャンセルやチケット譲渡はできません。

□保育・出張依頼など

※保育をご希望の方は 6 月 30 日までに下記実行委員会事務局までご連絡ください。保育料はお子様 1 名につき 1 日 5000 円です。対象は年少から小学校 4 年生までとします。

※出張依頼書が必要な方は事務局までお問い合わせください。



版画作品：たけがみたえ (和光大非常勤講師)

大会の趣旨に賛同し特別に 2 作品を提供してくださいました。

代表作品絵本『みたらみられた』『マンボウひまな日』

たけがみさんから歴教協大会へのメッセージ

「見て、触れて、感じる体験は何よりの学びの力になると思います！」

主催 一般社団法人 歴史教育者協議会 第 76 回東京大会実行委員会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-13-8 千成ビル 歴史教育者協議会内

TEL 03-3947-5701 FAX 03-3947-5790 E-mail jimukyoku@rekkyo.org

<https://www.rekkyo.org>

振替 00190-5-718665 (当座 〇一九店 718665)